

平成 29 年 2 月 22 日  
国土交通省中部地方整備局  
新丸山ダム工事事務所

## 岐阜県内建設発生土処理対策委員会の開催について

～新丸山ダム事業で発生する自然由来の重金属含有土の適切な処理について～

### 概 要

新丸山ダム工事事務所は、今年度よりダム本体関連工事となる転流工に着手します。

当該地域の岩盤には自然由来重金属が含有されている懸念があることから、工事着手に先立ち自主的な事前調査を実施した結果、工事施工範囲の一部で土壌汚染対策法の基準を超過する鉛・砒素が存在するおそれがあると判断しました。

このため、今後の工事を進めるにあたり、検査方法、処理方法等について検討することを目的に、【中部地方整備局岐阜県内建設発生土処理対策委員会新丸山ダム事業案件（第 1 回）】を開催します。

○日 時：平成 29 年 2 月 24 日（金）16：00～17：30（予定）

○場 所：岐阜県岐阜市森東 97（旧 J A ぎふ春近支店 2 階）  
前田建設工業（株）山県トンネル作業所会議室

○検討内容：転流工掘削ずりの検査方法、処理方法等について

○報道取材：取材撮影については、冒頭の委員長挨拶までとさせていただきます。

なお、検討内容（概要）は、後日美濃加茂市政記者クラブ、可児記者クラブにお知らせします。

当日の取材を希望される報道関係者の方は、下記お問い合わせ先まで、事前にお申し込み願います。

配布先 美濃加茂市政記者クラブ、可児記者クラブ  
解禁 指定なし  
問合せ先 国土交通省中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

副所長 小池 仁

工事課長 神村 章治

電話 0574-43-2780（代表）

○中部地方整備局岐阜県内建設発生土処理対策委員会 委員名簿

所	属	氏 名	専門分野
岐阜大学工学部社会基盤工学科		神谷 浩二 教授	土質力学・地下水工学
岐阜大学工学部社会基盤工学科		小嶋 智 教授	地質学
岐阜大学		佐藤 健 名誉教授	環境地盤工学
岐阜大学総合情報メディアセンター		篠田 成郎 教授	水文情報学
一般財団法人自然学総合研究所		寺尾 宏 主任研究員	水質・地下水
岐阜薬科大学		永瀬 久光 教授	衛生学

五十音順

○中部地方整備局岐阜県内建設発生土処理対策委員会開催場所について



新丸山ダム建設事業は、木曾川本川中流部に位置する丸山ダムの下流47.5mの位置に、20.2m嵩上げして機能アップを図ります。

### 洪水調節

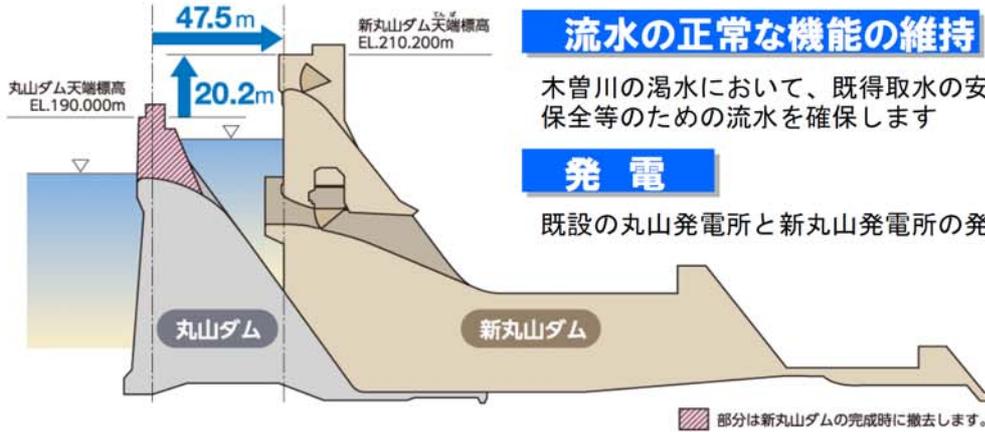
昭和58年9月28日規模の洪水を木曾川で安全に流下させます

### 流水の正常な機能の維持

木曾川の渇水において、既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水を確保します

### 発電

既設の丸山発電所と新丸山発電所の発電量を増やします



■部分は新丸山ダムの完成時に撤去します。

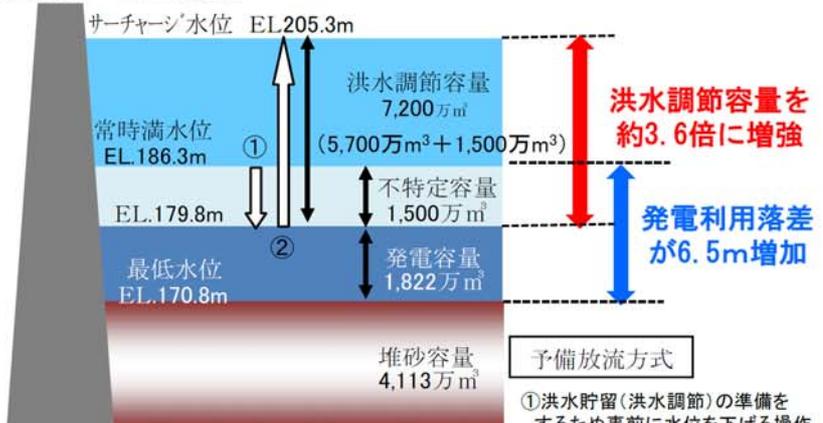


ダム天端 E L 210. 2m

ダム天端 E L . 190. 0m



丸山ダム



新丸山ダム

- 予備放流方式
- ①洪水貯留(洪水調節)の準備をするため事前に水位を下げる操作
  - ②洪水貯留(洪水調節)を行う操作